

中国の記事から（畜産）

2006年3月10日号

目次

◎国務院副総理、鳥インフル予防に全力あげるよう指示
【経済日報 2006年03月03日】

◎国務院副総理、鳥インフル予防に全力あげるよう指示
【経済日報 2006年03月03日】

国務院は、2日に、高病原性鳥インフルエンザ予防会議を開催し回良玉・副総理（全国高病原性鳥インフルエンザ予防指揮部総指揮）は、全国各地政府に対して鳥インフル発生状況を正確に認識し春季の流行拡大予防に全力をあげるよう指示した。2005年以来予防は成果をあげているが、これから渡り鳥が移動する季節を迎え鳥インフルが流行する可能性もあるため、以下の点に力を入れるよう指示している。

- (1) ワクチン接種を増やす。
- (2) 重点地区での観測を強化する。
- (3) 鳥インフル発生時の緊急対応体制を整備する。
- (4) 家禽の飼育、加工、輸送段階での検疫体制を整備する。
- (5) 人に感染した場合、これの治療に全力をあげる。
- (6) ワクチン、治療薬、スピード診断キットなどの研究、開発に力を入れる。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。